



シーボルト氏贈書ノ内
 收税局事務章程
 (收税掛職務達書)

大藏省
 翻譯課

は
 一

2982



114
A 4464



収税局事務章程

第一章

一千八百五十年三月五日官廳改革ノ布達第三十八款

ニリ第四十二款ノ條規ニ基キ設立セラレタル収税局ハ今年六月

月二十一日ノ太政官右達附表中(一千八百五十年布達全書第五

百六十葉目ニ詳ナリ)ニ詳示スル各司法区内全部収税ノ權ヲ掌

ル但シ司法區ノ改革アル中ハ通常位置ノ都合ニヨリ區分ニ

各殊ノ特例為ス如ク亦其改革ニ從テ特例ノ區畫ヲ為スベシ

ワイマル及アイデナツハ収税局ノ管内ハ其都府裁判所ノ管内

ト合併セシム

第二款 収税局ノ管理ニ屬スル事務ハ

第一 官金利子及官林所得ノ收入

第二 収税

第三 消防積金收入

大正十一年四月
隈侯爵邸寄贈

第四 地方収税

但大都府ナラハ特別ノ規則アリ之ニ従フベシ

第五 従来司法省及管内都府区戸長ノ権内ニ在ル地方消防請合事務

但區戸長ノ権限ニ帰セル動産請合條約ノ検査ハ此限ニアラス

収税局ハ其外管内ノ手数料収入所、収税局出張所并問税収入所即チ雜税収入所、塩税収入所、及輸出税収入所ヲ管轄シ且管内田畑帳簿ノ整頓ヲモ管理スベシ但右事務ハ其官廳地位ノ遠近等ニ由リ本局又ハ該局官吏ノ定人ニ委任セラル、トアルベシ

第三款 収税官并其属官ノ任官ハ大政府ノ確乎タル准許ヲ得ルマデ試補タルベシ而シテ右官吏試補ヲ免黜セラル、トモ其曾テ本官奉職中得タル權利ヲ失フコトナレ

第四款 収税局長タル収税官ハ該局諸事務ヲ擔任指揮シ且之ヲ保任スベシ然レモ属官ニ各殊ノ事務并一課ノ事務ヲ委任シ之ニ獨断ヲ許シ且其事務ヲ保任セシムルハ太政官第三局ノ允許ヲ得タル後ニ施行スベシ但シ金銀出納ノ正否ハ収税官必ス自ラ保証スベシ

第五款 収税官其属官及書記ノ任官ヲ要スルハ自費ヲ以テ之ヲ雇ヒ其人物ヲ保証シ且ツ其所業ヲ保任スベシ其外属官ノ採用并免黜アルハ其旨ヲ第三局ニ上申スベシ按自費トハ局費ヲ云歟

第六款 収税局小使ノ採用ハ通常太政官ニ由テ成ラス其採用及免黜トモ収税官ノ権限ニ帰ス然レモ採用ノ節ハ必ス大蔵局ノ准許ヲ受ケ且小使雇役盟約ヲ締結シ又之ヲ免黜スルハ其次第ヲ該局ニ上申スベシ故ニ右ノ手續ヲ以テ採用シタル小使ハ國家官吏ノ例ヲ以テ論スヘク拉斯一千八百五十年三月八日

ノ布達ヲ見ルベシ^レ〇収税局小使若シ直ニ太政官ヨリ任官セラ
ル、^レハハ収税官ニ許可セラレタル小使雇料ハ交付スルヲナシ
〇右金額ハ其他租税取立人ノ雇料ニ給与スベシ租税取立人ハ
其外成規ノ手数料ヲ得ル成規ナリ〇小使ハ官服ヲ第三局ノ使
人長ヨリ請取り租税取立ノ^レ着^レ用スベシ
第七款 収税局事務入費ハ不定費用ニシテ其餘分不足等アレ
ハ之ニ由テ定額ヲ變更スルヲアルベシ即チ其費用ハ油、炭、局内
ノ掃除、日除幕、洗濯等^レ之ニ属スル物品按ニラシクハ但机工
ノ器物小間物、年曆、書類ノ表紙、^レ管内外ノ使賃及運送費ハ此中
ニ算マズ^レ筆墨紙及包紙^レ但シ印刷及石摺ノ卦紙并雛形^レハ第
三局ヨリ見込ヲ以テ各収税局ニ付与ス^レナリ其外収税官属官^レ代
言者^レ管内巡行旅費モ亦之ニ属ス但属官^レ代言者ハ通常^レ収
税官乗車マデ^レハ^レ歩行スルヲ法トス若シ歩行シ能ハザル^レハ

収税官事情ヲ斟酌シ相当ノ乗車料ヲ与フベシ
収税官^レ属官ハ巡行ノ節^レ行費ノ外尚成規ノ食料ヲ得ルヲ通
常トス
巡行事務多端ニシテ官吏二名ノ派出ヲ要スル^レハ例外トシ其
外決シテ二名ニ食料ヲ附与セ^レ且ツ代言者ハ太政官ノ允許ヲ
得サレバ決シテ食料ヲ得ルノ推ヲ有セ^レス
向後ハ食料ノ名ヲ廢シ至当ノ金額ヲ附与スベシ
右官吏國家出納局ヨリハ決シテ収入手数料ヲ得ベカラズ然レ
ハ消防請合局ヨリハ追テ何分ノ布達アルマデ取立タル積金ノ
中一タール按ニ貨幣ニ当ル我ニ付四ベンニ按ニ九我ニ厘
ヲ請求スルモ妨ナシ^レ一千八百四十年十一月十三日ノ布達^レ且ツ
右収入手数料從來収税上官ノ所得ナレハ追テ何分ノ布達アル
マデ之ニ附與スベシ

収税官ハ其外成規ヲ手数料ヲ請取り(属官ニ特別ニ)セラレタル
ル手数料ハ此限ニ非ス且ツ其金高ヲ公然申報スベシ然ルハ
政府後來其金高ヲ通算シ以テ給料ニ算入スベシ

第八款 収税官ハ

〔第一〕官金利子及官林所得ヲ收入スルニハ官金及官林所得収
入章程ヲ遵奉スベシ

〔第二〕直税及消防請合積金ヲ上請取スルニハ収税事務章程ニ
從フベシ

〔第三〕産業税收入事務ヲ施行スルニハ地方収税局ノ規則及職
制章程ニ由ルベシ

〔第四〕消防請合事務ヲ施行スルニハ其成規及職制章程ニ從
テ且ツ時々ノ規則ニ由ルベシ

〔第五〕管内田畑帳簿ヲ整頓スルニハ簿冊記方條例及切手記

書交付方法規則ヲ遵奉スベシ

第九款 雑税收入所及他間税收入所ノ事務収税局ノ一官吏
ニ委任セラレ、且ハ間税收入規則及間税取立條例及職務心得
ヲ遵奉シ施行スベシ

第十款 官有地々代ノ簿記方及計簿送達規則ハ官金取扱局
ノ遵守スベキ消防積金上請取規則及方法ト同一ナル。故ニ之
ニ從フベシ

収税局ハ直税ノ金高ヲ詰算シ之ヲ直ニ出納本局ニ送付スルノ
義務ヲ有スルカ故ニ一季又ハ半年毎ニ本局ヨリ交付セラレタ
ル収税表及収入証ノ体裁ニ基キ附表甲ノ例ニ倣ヒ第四款及第
五款ノ部ニ收ハシタル直税ヲ記入スベシ該局ハ尚其外毎年諸
助定結算ノ節収税経費及减免税即チ收入手数料也方収税官ノ
旅費賞典及減税差尚残存スル從來ノ建築免稅及色_イ等ヲ本書

証書共ニ附表乙及丙ノ例ニ從テ之ヲ記入レ以テ本局ニ送達スベシ
但シ準備金ノ中ヨリ地方収税官ニ交付シタル金額ハ明細表ヲ造リ証書ト共ニ之ヲ出納本局ニ送達スベシ
間税ノ計算法及送達方ハ尚区内収税所現存シ且ツ収税ノ為ニ別ニ新規則ヲ設ケザル間ハ從來ノ通りタルベシ
収税局ハ其管内各地ノ収税吏ヨリ消防積金ヲ取立之ニ手数料及旅費請取ヲ附シ以テ消防請合局ニ送付スベシ
該局ハ其外ワイマル出納局、出納本局、國債償還局、給料并扶助金支給局、大蔵出納局、消防請合局、工部出納局、陸軍出納局、警視出納局、教育出納局、文部出納局等ノ諸入費ヲ右各局ノ命令ニ從テ收入シ且ツ其明細表ヲ製シ以テ出納本局ニ金回ヲ差出スベシ
ワイマル府

一千八百五十二年

三月二十日

太政官第三局

千八百...年某叔稅局管內減稅免稅復稅一覽表

証書 記号	地名	減稅		免稅		復稅	
		旧 租	之 分	免 分	免 分	復 稅	分
		四	錢	厘		四	錢 厘



